



Report ▶ 藤あや子コンサート



練馬区商業まつり・ 中元売出し招待会

秋晴れの9月26日(金)、各商店会の中元売出しで特賞を引き当てたお客様(1300組2600名)をお招きし、「令和7年度 練馬区商業まつり」を練馬文化センター大ホールで開催しました。今回は歌手の藤あや子さんの華麗なステージで観客を魅了しました。

当日は、多くのお客様が来場され、会場は熱気に包まれました。入り口では、揃いの法被を着た練馬区商店街連合会の役員たちがお客様を笑顔で出迎えました。



公演に先立ち、諸井良治副会長の司会で式典が執り行われ、江村健二会長をはじめ、来賓の前川耀男練馬区長、上野ひろみ練馬区議会議員が挨拶しました。

公演が始まると、藤あや子さんが、代表曲「むらさき雨情」の曲名にちなんだ艶やかな紫の着物姿で登場。「ねりま商業まつりには8年ぶり、2度目の出演です。精一杯務めさせていただきます」と挨拶すると、客席からは大きな拍手が起こりました。「あや子のお国自慢だよ～がんばろな東北!!」と、出身地である秋田県の民謡「秋田音頭」の2曲では、お客様とハイタッチをしながら客席を回り、大いに盛り上がりました。その後も、ちあきなおみさんや八代亜紀さんら大先輩の歌をしっかりと歌い上げ、会場中を感動のるつぽに。また、自身で作曲・作詞した新曲「想い出づくり」は、いつもと違う趣きのミニスカート姿で登場! 圧倒的な美しさと表現力の幅広さで、観客を魅了しました。恒例のお客様による花束贈呈では、藤あや子さんから「本当にありがとうございます」と感謝の言葉が贈られ、記念撮影が行われました。

最後は、「涼しくなるので体調に気をつけてお過ごしくださいね」と、観客を気遣う温かいメッセージで締めくくられました。公演を観た来場者からは、「華やかで歌が上手で、素晴らしかったです」「孫がチケットを当ててくれました。(花束贈呈者のように)私も一緒に写真を撮りたかったです」といった声が聞かれ、招待客にとって忘れられない特別な時間となったようです。



昼の部は曾我 江里さん(左)、夜の部は石丸 信博さん(右)が花束贈呈をしました

挨拶の要旨



江村健二会長

本日お集まりの皆様には、地元商店街も応援してくださっていることに深く感謝申し上げます。11月の全国都市農業フェスティバル開催にあわせて、練馬区商店街連合会は10月1日から21日まで応援フェアを行います。また、来年1月から2月にかけては恒例の「まちゼミねりま」を行いますので、皆様ぜひご参加ください。



前川耀男練馬区長

ご来場の皆様は、商店街で買い物をされ、競争率30倍の抽選でチケットを手にした誠にラッキーな方々です。人口75万人の区民の暮らしを支え、町の賑わいや魅力を作り出しているのは商店街の皆様です。私と共に練馬区の発展に取り組む私の「同士」です。引き続き、頑張る商店街を積極的に応援してまいりますので、皆様には商店街のご利用をお願い申し上げます。



上野ひろみ練馬区議会議員

商店街は、ただ買い物をするだけではなく、そこに暮らす人々が集い、顔の見える関係が築ける地域のコミュニティーの場です。練馬区商業まつり開催に際し、練馬区商店街連合会の皆様の熱意と努力に敬意を表すと共に、感謝申し上げます。引き続き、地域の皆様の日常生活を支える商店街の振興に全力で取り組んでまいります。

新年賀詞交歓会のお知らせ

令和8年1月30日(金) 17時30分
 場所:ホテルカデンツァ東京 地下2階「ラ・ローズ」
 商店街の皆様の多数の参加をお待ちしています。

たちばなし

南大泉商愛会は昭和28年4月に25人で結成されました。保谷駅南口と南大泉地域にあたり、メインの通りはありませんが、商店街の面積としては広い規模となっています。

最盛期には120店舗を抱える商店街でしたが、現在は70店舗、賛助会員(商店をやめたあと商店会行事をお手伝いして下さるサポート会員)が20名ほどいます。

年中行事は、中元大売り出し、夏の商愛会祭り、歳末売り出しがあります。商愛会祭りでは大小の神輿や子どもたちが巡行し、子どもたちには大変人気があります。夜は盆踊りをはじめ、フラダンスやベリリダンスが行われ、こちらも人気です。歳末売出しでは、イルミネーション事業と同時に行うプロジェクトマッピングがとても綺麗です。ぜひ一度ご覧ください。

また、以前行っていたバス研修旅行はバス代高騰のため中止に。大道芸やサンパを呼び大盛り上がりだった商愛会フェスティバルは、いまはパワーがなくなることができません。

どこの商店も同じだと思いますが、今後の課題は商店主の高齢化と承継問題、デジタル化の問題です。高齢化はサポート制や協賛会員で補えればよいのですが、デジタル化を高齢者に勧めてもなかなか理解できず、人材を雇えばその出費は多大になると思われます。これから商店のあり方は、古いままでは考えられません。

国や行政は個人商店の在り方にもっと理解を示し、地域では今後の商店会の在り方を考える必要があるのではないのでしょうか。

最後に、我々店主も今後の商店活動を考え直さねばならないのではないかと思います。

南大泉商愛会
 会長 鈴木昌一

Pick up▶ 令和8年度 練馬区の予算・施策に対する要望



練馬区商店街連合会および練馬区商店街振興組合連合会は、8月6日、令和7年度練馬区予算・施策に対する要望書を、区長および区議会各派に提出しました。要望内容の骨子は次のとおりです。

1 商店街の活性化について

(1) イベント事業への補助の増

商店街にとって、イベントはまちの賑わい創出には欠かせないものです。個々の商店街だけではなく、地域が一つになっていくきっかけにもなっております。ぜひとも、区からの補助も、補助率2/3を5/6に復活していただき、援助の充実をお願いいたします。

(2) プレミアム付商品券の発行

2年度から5年度まで実施した30%のプレミアム付商品券の発行は、商店街ばかりではなく、消費者からも好評で、今年は発行するののかとの問い合わせを多くいただいております。物価の上昇の局面で消費を伸ばしていくには、プレミアム付商品券の発行は大変有効です。8年度の発行に向けてご配慮をお願いします。

(3) 事業用倉庫・会議室の確保への支援

(4) キャッシュレス決済ポイント還元事業の継続

(5) 「まちゼミ」事業への支援

2 安全・安心な商店街づくりについて

個別のLEDランプ交換費補助制度の創設

LEDランプは、水銀灯のような無償交換制度はなく、商店会が独自に対応し負担をしているのが現状です。切れたLEDランプの交換に要する経費は高額なため、補助制度の創設をお願いします。

3 共通商品券事業への支援

共通商品券事業は、商店街の賑わいの創出、消費需要の拡大など効果が上がっているものと思われます。しかし、額面の金額をその金額で購入していただくことから、利益は生じず、印刷などの事務経費が負担になります。そこで、事業運営に必要な経費の負担を少なくするために、区から援助をお願いするものです。

Pick up▶ 全国都市農業フェスティバル2025応援フェアII

全国都市農業フェスティバル2025応援フェアIIは、令和7年11月15日(土)・16日(日)に開催される全国都市農業フェスティバルを応援するキャンペーンとして開催されました。キャンペーン期間中(10月1日～21日)、ポスターが貼ってあるキャンペーン実施店舗で1,000円以上のお買い物をした方に、応募券を1枚配布。抽選で、練馬区内共通商品券の特賞5,000円分(200名)、1等3,000円分(500名)、2等1,000円分(500名)を1,200名の方にプレゼントしました。応募総数は16,447人でした。

全国都市農業フェスティバルとは？

「買う」「食べる」「体験する」「話す・学ぶ」をテーマに、都市農業の魅力を存分に味わえる国内最大級のイベント。令和7年11月15日・16日に光が丘公園で開催します。



商店会イベントスケジュール 令和7年11月～令和8年1月

11月1日	フリーマーケット	石神井小関商栄会
11月8日	秋の夕市	氷川台商店会
11月9日	オートム・プチバザール	江古田北口商店会
11月15日	秋のマルシェ	共栄商店会
11月16日	いちようまつり	大泉学園町商店会
11月16日	鷹狩りショー	ニュー北町商店街振興組合
11月16日	としまえんあたりのみちくさ祭り	としまえんあたりの実行委員会
12月7日	寒桜まつり(朝市)	北大泉商栄会
12月9日・10日	賑わい武蔵関まつり	武蔵関駅北口商店会
12月27日	歳末もちつき大会	大泉学園駅南口商店会
1月10日	本町通りの鏡開き	富士見台本町通り商店会
1月12日	新春餅つき大会と獅子舞	石神井公園商店街振興組合

予告▶ 2026年1月16日～2月19日 開催！ 第13回 まちゼミねりま



過去に開催されたまちゼミの様子

「まちゼミねりま」とは？

得する街のゼミナール、略して“まちゼミ”とはお店の方が講師となり、プロならではの専門的な知識や情報、コツ、また趣味の楽しみなどを無料で受講者(お客様)にお伝えする少人数制のゼミです。

第12回の実績

■講座数：74講座 ■受講者数：929人

受講者の満足度：「大満足」と「満足」を合わせて98%以上の高評価多くの方にご参加いただき、大成功を収めました。

第13回 開催情報

■開催期間：2026年1月16日(金)～2月19日(木)

※参加店の募集はすでに終了しております。

現在、練馬商人会と練馬区商店街連合会(商連)事務局が連携し、開催に向けた準備を進めています。過去の講座の様子は、右記QRコードからご覧いただけます。講座内容のヒントや運営の参考に、ぜひご活用ください。

https://www.nerima-kushoren.jp/machisemi_repo



【練馬区指定葬儀場】

社会福祉法人
東京福祉会

江古田斎場

☎0120-62-1192 年中無休・24時間受付

TEL 03-3958-1192 FAX 03-3958-4468

ホームページ <http://www.fukushikai.com>

※ご自宅・東高野会館・寶亀閣・橋戸会館・落合斎場・戸田斎場の葬儀も施行いたします。

練馬区小竹町 1—61—1
(西武池袋線江古田駅北口徒歩2分)



Event ▶

練馬産業見本市「まちゼミねりま出前講座」

10月19日(日)、練馬まつりと同時開催された練馬産業見本市が Coconeri3階で行われました。区商連ブースでは、例年通り「まちゼミねりま出前講座」を実施。「プチ和菓子職人体験塾」「お花のアレンジメントを作ろう!」「本革でつくるエンボスキーホルダー」の3つの講座が開かれ、受講者の皆さんはそれぞれの体験を楽しみました。区商連の公式LINEアカウントからのお知らせで出前講座の開催を知り、申し込んだという受講者が多く、昨年からスタートした、この取り組みの効果が現れていたようです。

和菓子作りの講師を務めた佐藤さんは、「お客さまとの直接的なやりとりが少なく、なっている近年、まちゼミは一人ひとりとじっくり向き合える貴重な機会。ぜひ積極的に参加してほしい」と語りました。アレンジメントの講師を務めた諸井さんは、「長年仕事をしていると、自分のやり方が当たり前になり、マンネリ化しがちです。人に教えることは、自分自身の気づきにもつながり、モチベーションアップにもなります」と話していました。キーホルダー作りの講師・町田さんは、「今回初参加で緊張しましたが、楽しく講座ができました」とのことでした。

受講者の皆さんは口をそろえて、「とても楽しかった!」と満足げな笑顔を見せていました。「興味はあっても、自分で道具や材料をそろえるのはハードルが高い。こうした講座があるのは本当にありがたい」という声も聞かれ、高い関心と満足の声が多く寄せられました。講座の様子を興味深そうに見学し、「次回はぜひ参加したい」とスタッフに詳細を尋ねる来場者の姿も多く見られ、来年1月から始まるまちゼミへの期待の高まりを実感する機会となりました。

まちゼミねりま出前講座の様子



プチ和菓子職人体験塾 あわ家惣兵衛 佐藤公明さん
木の葉をかたどった「秋の練り切り」と、中にあんずを入れた「柿の羊羹巻き」作りを体験



お花のアレンジメントを作ろう! 花保諸井商店 諸井良治さん
オレンジやイエローの花材をベースに、ハロウィンを意識したアレンジメントを作成



本革でつくるエンボスキーホルダー カルトナーージュ講師 町田ゆり子さん
世界に1つだけのキーホルダーが完成。「もったいなくて使えない!」という受講者も



区商連の動き

令和7年7月～9月

7月1日(火) 新正副議長表敬訪問。

7月10日(木) 午後2時より合同役員会を共用会議室で開催。練馬区からアンケート実施の報告等。令和8年度練馬区予算・施策に対する要望案について協議。令和7年度商業まつり歳末売出し招待会について協議。令和7年度まちゼミねりまの開催の報告。令和7年度総会懇親会開催結果の報告。

7月30日(水) 区長へ令和8年度練馬区予算・施策に対する要望書提出。

8月6日(水) 午後1時30分より合同役員会を共用会議室で開催。(仮称)全国都市農業フェスティバル2025応援フェアIIの実施を説明し、了承。第34回チャリティゴルフ大会の実施について説明し、了承。区商連LINEの登録を今後各商店街に依頼を報告。合同役員会終了後、各会派幹事長へ令和8年度練馬区予算・施策に対する要望書提出。

8月8日(金) 午後6時より新旧理事歓送迎会兼暑気払いをカデンツァ東京1階ルミエールで開催。

9月8日(月) 午後2時より合同役員会を共用会議室で開催。商業まつり中元売出し招待会について協議。商業まつり歳末売出しについて協議。「商店会におけるITに詳しい人材の有無について」並びに「LINEの公式アカウントへの登録のお願い」(中間報告)。コミュニティFM「練馬放送」について説明。

9月26日(金) 商業まつり中元売出し招待会「藤あや子コンサート」を練馬文化センターで開催。

練馬区商業まつり歳末売出し

特賞は「明治座 氷川きよし特別公演」ペアご招待!

練馬区商業まつり歳末売出しは、11月23日から12月31日までの間で、各商店会の決めた日程で実施します。本年度の歳末売出しの景品は、特賞が「明治座 氷川きよし特別公演」ペア630組1,260名ご招待。

1等賞は「ビール券6枚」、「練馬区内共通商品券500円6枚」、「映画観賞券ペアチケット」のいずれか。2等賞は「練馬区内共通商品券500円1枚」を進呈。3等以下は参加する商店会が独自の景品を用意します。

「明治座 氷川きよし特別公演」は、令和8年2月7日(土)に開催します。積極的に参加し、商業まつりを盛り上げましょう。



お祝・ご贈答・お返しに
どうぞご利用下さい。

練馬区内共通商品券

練馬区商店街連合会
練馬区商店街振興組合連合会

SNSをフォローして、
IMAの最新情報をCHECK!



LINE

光が丘IMA
@ima_hikari

Instagram

光が丘IMA
@imahikari.official

X (旧Twitter)

光が丘IMA
@IMA_PR

地元で宣伝するなら

練馬・板橋の
タウン誌

Kacce
月刊カッセ



広告、チラシ、
動画制作など
お気軽にご相談ください!

協同クリエイティブ
☎03-3975-7143

https://www.kacce.co.jp

区商連ニュース・区商連ホームページを制作しています

商店街 活動だより

2025年
7月～10月



第18回 しもしゃく祭り

7月18日(金)・19日(土) 下石神井商店街振興組合



7月18日(金)・19日(土)の2日間にわたり、第18回しもしゃく祭りを開催しました。2日間とも晴天に恵まれ、盆踊り、むつみ太鼓、将棋まつり、高校生吹奏楽部公演、空手演武、フラダンス、漫才芸などたくさんの催しで賑わいました。誰でも自由に使える麦茶のセルフサービスや、商店街のLINEに登録していただいた方に、紙パックジュースのサービスも実施。約2,000名のお客さまにご来場いただきました。お客さまから「人が集まったね!!」と声をかけていただき、うれしかったです。

(報告者：小池 聡)

第47回 中村橋阿波おどり

9月27日(土)・28日(日) サンツ中村橋商店街振興組合

サンツ中村橋商店街通りと中村橋駅前広場で、第47回中村橋阿波おどりが開催されました。27日の前夜祭は地元連5連、28日本番日は12連、総勢600人の踊り子とお囃子で両日盛り上がりしました。商店街の各商店では飲食やヨーヨー等の模擬店も出店し、初秋の涼しい中、両日合計約30,000人の人出で賑わいました。



「高円寺の有名連4連の出演や結成30周年の阿波踊りプロ集団『寶船』の演技も観られて楽しかった」という声もあり、3時間半の阿波踊りで多くのお客さまに楽しんでいただきました。(報告者：江村 健二)

練馬大鳥神社「石薬師市」

9月28日(日) おとり様商店会



爽やかな秋晴れの中、練馬大鳥神社の境内で石薬師市が開催されました。夜営業の飲食店が多い商店街のため、昼間のイベントを通して普段来ない方にも知ってほしいという思いから、20年以上続けてきたお祭り。能登半島地震以後は「防災」もテーマに加わりました。「最初はけん玉、お手玉、ベーゴマの昔遊びから始まりました。年々出展団体が増え、私たちは場所を提供するだけに。今年は初の試みとして、ねりまキッズボランティアの子どもたちに企画・運営に加わってもらいました」と木内知己会長。手作り看板、展示物、司会や運営マニュアルなど、半年前から準備をしてきた子どもたち。実施時間の違うブースを巡るビンゴゲームもキッズのアイディアです。「例年、午後は客足が減りますが、今年は終日賑わいそうです」と木内会長も絶賛でした。恒例の昔遊びブースは、子どもも大人も童心に返って大盛り上がり！ 消火訓練や救護訓練にも行列ができ、紙芝居やチャンバラ体験も、多くの家族連れが楽しんでいました。

第48回 練馬まつりにブース出展

10月19日(日) 練馬区商店街連合会

練馬まつりが練馬駅北口とマロニエ通り周辺で開催され、開進第二中学校会場の区商連ブースでは、恒例の区内共通商品券を販売しました。共通商品券を2枚購入すると、ガラボンの抽選に1回チャレンジできます。1等は2,000円分の共通商品券とあり、真剣な表情でガラボンを回すお客さんも。当選者が出るとスタッフが盛大に鐘を鳴らし、盛り上げていました。時折雨が降るあいにくの天気でしたが、「毎年、抽選を楽しみに買いに来ています」という家族連れなど、多くのお客さんで賑わいました。



商店会の様子



スタンプラリーのポスターとエントリーカード

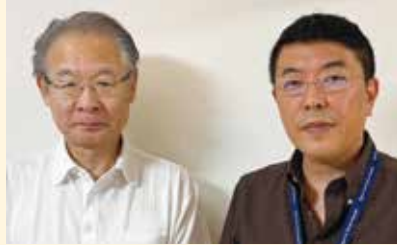
#060 商店会紹介
旭丘文化通り商店会
創立：昭和59年6月
会長：田村 憲胤
会員数：49
(令和7年9月)

江古田駅南口の「旭丘文化通り」を中心に広がる旭丘文化通り商店会は、行列ができるラーメン店など、個性豊かな飲食店が多いのが特徴です。「文化通り」という名前は、現在100円ショップ「セリア」のある場所にかつてあった「江古田文化劇場」という映画館に由来しています。「機動戦士ガンダム」を見た記憶がありますね」と懐かしそうに話すのは、4代目会長の田村さんです。

前会長は、田村さんが子どもの頃から通っていた床屋さん。江古田駅南口の「旭丘文化通り」を中心に広がる旭丘文化通り商店会は、行列ができるラーメン店など、個性豊かな飲食店が多いのが特徴です。「文化通り」という名前は、現在100円ショップ「セリア」のある場所にかつてあった「江古田文化劇場」という映画館に由来しています。「機動戦士ガンダム」を見た記憶がありますね」と懐かしそうに話すのは、4代目会長の田村さんです。

情報発信と並行して企画されたのが、スタンプラリーです。当初は単独開催でしたが、隣接する旭丘千川通り商店会に声をかけ、今では夏の「デジタルシフト」でプロジェクトにも尽力。田村さんはその旗振り役の一人として、江古田にある10の商店会合同で10月25日に初のハロウィンイベントを企画しました。自身が経営する薬局を会場として提供するなど、イベントの成功に向けて奔走しています。

「商店会がバラバラでやるよりも、街全体でやった方がお客さまが喜んでくれます。魅力ある街にはみんなが集まるようになってほしい」と田村さん。一商店会の活性化にとどまらず、江古田という街全体の未来を見据え、新しい「文化」を発信しようとしています。



広報担当の望月靖彦さん(左)と田村会長(右)

江古田の商店街が1つになつて情報発信をする「江古田はひとつ」

の店主でした。「地域のつながりで頼むよ」と言われたら、断るわけにはいきませんから」と、平成30年に会長職を引き受けました。

就任当時、商店会の活動は年一度、鉢植えの花を配布するイベントを行う程度。そこで田村さんが着手したのは、ホームページやSNS(Instagram、Xなど)を活用した積極的な情報発信です。少ない会費の中で最大限の効果を生み出すための「デジタルシフト」で

商店街 活動だより

このコーナーでは、商店会で実施したイベントをご紹介します。「原稿と写真で報告」または「取材に来てほしい」として、区商連までお声がけください。



原稿送付先
区商連事務局
☎ 3991-2241 FAX 3991-2276
区商連ホームページにも掲載します
<https://www.nerima-kushoren.jp/evpastlist>

